

様式 4

平成 30 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立日野学校  
 学校長 内仲 弘

評 価 日	平成 31 年 3 月 4 日 (月)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>ア「学びの質的改善」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観の感想として、少人数授業で落ち着いた状況であると感じられた。</li> </ul> <p>イ「社会の中で生き抜く力の育成」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ案件については小学校や中学校へ情報提供も必要と思われる。</li> <li>・発達障害を持つ生徒に対して、個々に合わせた合理的な配慮を望む。</li> </ul> <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身が自分の思いを自分の言葉で表すことができる力を育成することを望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、取り組んでいる協同学習を拡充させ、授業の質的改善を促進させ、生徒の主体的な学びを推進していく。</li> <li>・発達障害等に起因するいじめもあり、個別対応となるが、中学校との情報共有や保護者及び生徒へ必要な情報提供を行うとともに、障害等についての理解を周知するためにも生徒の自己開示もお願いする。</li> <li>・特別支援教育支援員が授業の中で困り感をもっている生徒への学習サポートを通常行っている。今後も授業者と特別支援教育支援員が連携を深め、障害を持つ生徒への支援を積極的に行っていく。</li> <li>・様々な教育活動の中で「授業の質的改善」、「社会性の育成」、「地域連携」の充実を図り、学力の伸長及び豊かな人間性を育む教育活動を推進する。</li> </ul>	